

「まちづくり長期計画」の骨子案がまとまりました。

都市計画審議会において検討を重ね、『まちづくり長期計画』の骨子案がまとまりましたので、パブリック・コメント、地域説明会を実施します。

【パブリック・コメント】平成28年11月25日（金）～12月26日（月） 【地域説明会】平成28年12月（会場：10の地域センター）

1 背景

社会経済情勢やまちの変化

- ・ 現行の都市マスタープラン策定（平成19年）以降、更なる少子高齢化が進んでいます。
- ・ 都市インフラの老朽化が進むなか、東日本大震災などの大規模災害が発生しています。
- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定など、今後も、国内外からの来街者の増加が期待されます。
- ・ 区内各地でも、多様な主体によるまちづくりや都市基盤の整備が進んでいます。
- ・ このため、都市マスタープランを見直すとともに、まちづくりを計画的・戦略的に推進するため、新たに『まちづくり長期計画』を策定します。



東日本大震災



新国立競技場（イメージ）
（出典：Japan Sports Council）



おとめ山公園の整備完了



新宿駅東西自由通路着工
（完成イメージ）
（出典：東日本旅客鉄道株）

2 策定の視点

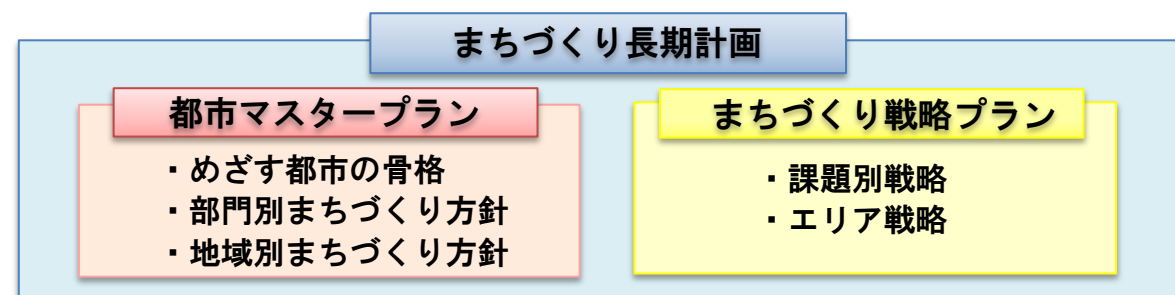
さらなる都市の安全性の確保

新たな賑わいの創出

区民、事業者、行政（区）など多様な主体の連携の強化

これらの視点を踏まえ、『まちづくり長期計画』を策定します！

3 まちづくり長期計画の構成



4 策定期期

平成29年12月を予定

5 計画の期間

10年程度（平成30～39年度）

まちづくり長期計画（骨子案）の概要

都市マスタープラン

※現行の都市マスタープランを見直します。

将来の都市像「暮らしと賑わいの交流創造都市」 ※継承します。

部門別まちづくり方針

※各方針で防災、観光等の視点を強化
※環境に関する方針を新設

- 1 土地利用の方針
- 2 都市交通整備の方針
- 3 防災まちづくりの方針
- 4 みどり・公園整備の方針
- 5 景観まちづくりの方針
- 6 住宅・住環境整備の方針
- 7 誰もが豊かに暮らせるまちづくりの方針
- 8 環境に配慮したまちづくりの方針

地域別まちづくり方針

※部門別まちづくり方針の見直しを反映
※地域のまちづくりの進捗状況を反映

- 1 四谷地域まちづくりの方針
- 2 筆筈地域まちづくりの方針
- 3 榎地域まちづくりの方針
- 4 若松地域まちづくりの方針
- 5 大久保地域まちづくりの方針
- 6 戸塚地域まちづくりの方針
- 7 落合第一地域まちづくりの方針
- 8 落合第二地域まちづくりの方針
- 9 柏木地域まちづくりの方針
- 10 新宿駅周辺地域まちづくりの方針

まちづくり戦略プラン

※新たに策定します。

都市マスタープランで示す「将来の都市像」の実現に向けて、区内全域や地区が抱える課題の解決に向けた重点的な取組みや各主体の役割を「戦略」として示します。

- 戦略
- ・ 「ハードの取組み」と「ハードを支えるソフトの取組み」
 - ・ まちづくりの各主体（区民、事業者、行政）の役割

課題別戦略

区全域の「重点課題」を設定し、課題解決に向けた戦略を示します。

重点課題1

新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

- 戦略 a 建物の安全安心の強化
- 戦略 b 地域の防災性の強化
- 戦略 c 防災体制の強化

重点課題2

賑わい都市・新宿の創造

- 戦略 d 国際観光都市の推進
- 戦略 e 愛着と誇りをもてるまちの拡充
- 戦略 f 持続的に発展する都市の推進

エリア戦略

区のまちづくりを先導する「まちづくり推進エリア」を設定し、エリアごとに戦略を示します。

- ・ エリアごとの課題の解決、生活の利便性の向上や来街者の増加などまちの活性化
- ・ その効果が周辺地域や区全体に波及していくことを目指します。